

適用規格					
定 格	使用温度範囲	-45℃～ + 125℃（注1）		保存温度範囲	-10℃～ + 60℃（注2）
	電 圧	150 V AC		適合コネクタ	DF9#-*P-1V(22)
	電 流	0.5 A			DF9#-*P-1V(32)
性 能					
	項 目	試 験 方 法		規 格	
構 造	外観, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。		図面と合致していること。	
	表示	目視にて確認する。			
電 氣 的 性 能	接触抵抗	100 mA(DC又は 1000 Hz)で測定する。		50 mΩ以下	
	絶縁抵抗	DC 100 Vで測定する。		500 MΩ以上	
	耐電圧	AC 250 Vの電圧を 1 分間印加する。		せん絡・絶縁破壊がないこと。	
機 械 的 性 能	繰り返し動作	30 回の抜き差しを行う。		①接触抵抗：50 mΩ以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	
	耐振性	周波数 10～55 Hz、片振幅 0.75 mmで 3 方向 各 2 時間試験する。		① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² 、持続時間 11 ms、 正弦半波 3 方向 各 3 回試験する。		① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 40 ± 2 °C、湿度 90～95 %中に 96 時間放置する。		①接触抵抗：50 mΩ以下 ②絶縁抵抗：500 MΩ以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	
	温度サイクル	温度 -65 → 5～35 → 125 → 5～35 °C 時間 30 → 10～15 → 30 → 10～15 分 を 5 サイクル 試験する。		①接触抵抗：50 mΩ以下 ②絶縁抵抗：500 MΩ以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	
	半田耐熱性	【 リフロー半田付けの場合 】 《 リフロー部 》 MAX 250 °Cピーク 220 °C以上 60 秒 以内 《 予熱部 》 150～180 °C 90～120 秒 リフローは同条件にて2回まで可能 【 手半田（リペア）の場合 】 半田ごてで 380 °C、3 秒の条件にて半田付 けを行う。但し、端子に力を加えないこと。		外観の変形及び端子等に 著しいガタがないこと。	
	はんだ付け性	はんだ温度 245±5 °C、浸漬時間 3±0.5 秒間 のはんだ付けを行う。		はんだ浸漬面の 95 %以上が新しいはんだ で濡れていること。	
	△3				

備考（注1）通電による温度上昇を含みます。
（注2）保存とは基板搭載前の未使用品に対する長期保管状態を表し、基板搭載後の無通電状態は、使用温度範囲が適用されます。

試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用しています。

	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
△3	1	DIS-H-001204	AR.TAKAHASHI	TS.MIYAZAKI	06.08.02
				承認	TY.OMA
				検 図	TS.MIYAZAKI
				担 当	HK.UMEHARA
				製 図	HK.UMEHARA
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			図番	SLC4-162419-03	
HRS	製 品 規 格 表		製品名	DF9-*S-1V(32)	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL540	△3 1/1